

もっと安吾を！ もっと身近に！

第1回

ニイ
ガタ

安 吾 賞 2016

安吾賞とは、生きざま賞である。



写真：林忠彦



新
潟
市

挑戦者を応援する

安吾の覚悟

どうしても書かねばならぬこと、書く必要のあること、ただ、そのやむべからざる必要にのみ応じて、書きつくされなければならぬ。

日本文化私観

安吾の純情

彼の手の下には降りつもった花びらばかりで、女の姿は掻き消えてただ幾つかの花びらになっていました。そして、その花びらを掻き分けようとした彼の手も彼の身体も延した時にはもはや消えていました。あとに花びらと、冷めたい虚空がはりつめているばかりでした。

桜の森の満開の下

安吾の喝

堕ちる道を堕ちることによって、自分自身を発見し、救わなければならない。政治による救いなどは上皮だけの愚にもつかない物である。

堕落論



撮影：坂口綱男



新潟市長
篠田 昭

新潟市出身の作家、坂口安吾の精神を具現し、さまざまな分野で挑戦し続けることで、私たちに勇気と元気を与えてくれた個人や団体を表彰してきた「安吾賞」。

今年度からは、これまで以上に市民の皆さまに身近な賞として感じていただけるよう、新潟市にゆかりがあり、安吾精神を具現されている個人や団体を応

援する「ニイガタ安吾賞」へと一新しました。

記念すべき第1回ニイガタ安吾賞は、高儀農場代表取締役の高橋治儀さん^{たかはしはるよ}に決定しました。

高橋さんは、昭和60年ごろからトマトの節水栽培に取り組み、平成12年に、自家製栽培の食材をその場で食べられるレストランを開業しましたが、農地上の問題から一時休業せざるを得なくなっていました。

それでも、「採れたてのトマトの甘みや野菜の美味しさを実感してほしい」との思いを諦めることなく、新潟市が農業分野での国家戦略特区に認定されたことを契機に、再び農地でのレストラン経営に挑みました。昨年5月に新しく、レストラン

「ラ・トラットリア・エストルト」をオープンし、新潟の豊かな食文化の発信に大きく寄与されています。

さまざまな困難に直面しつつもそれを乗り越え、多くの人が成し得なかった農業の新しい道を切り開いているパイオニアとしての姿は、まさに「現代の安吾」としてふさわしいと評価されました。

新潟市は、これからも反骨と飽くなき挑戦者魂の安吾精神を発揮する「現代の安吾」に光を当てていきます。



選考委員長
齋藤 正行

このたび、第1回ニイガタ安吾賞の選考をいたしました。多くの方からご応募をいただき、心より感謝申し上げます。

選考の結果、第1回ニイガタ安吾賞の受賞者は、高儀農場代表取締役の高橋治儀さん^{たかはしはるよ}に決定いたしました。

高橋さんは、フルーットマトの販売や「産地直食」の農家レストランなど、常に農業の新しい

道を模索してこられました。昨年5月、農家レストラン「ラ・トラットリア・エストルト」をオープンされましたが、それは、単に新潟市が国家戦略特区に認定されたからというだけではなく、高橋さんが、これまで制度の中で常に諦めずに闘ってこられたから実現したものと思っています。

これまで様々な壁を乗り越えてこられた高橋さんの活動は、坂口安吾の精神に通じるものがあり、より身近な賞へと生まれ変わり、新潟市にゆかりのある個人・団体を応援するという「ニイガタ安吾賞」の趣旨にも合致すると考え、「第1回ニイガタ安吾賞」をさしあげることといたしました。

第1回

ニイガタ

安五郎賞
2016



もっと安吾を！もっと身近に！

第1回ニイガタ安吾賞

高橋治儀

たかはし・はるよし
高儀農場 代表取締役

この度、第一回「ニイガタ安吾賞」の受賞のお話をいただき、「えっ？ 私が！？なんで？」と大変驚きました。

偉大な受賞者の皆さまの顔ぶれを思い出し、「どうして、私が？」と何ったところ、私の農業に対する取り組み方・生き方が「挑戦者魂」、「現代の世相に喝を入れる」など、安吾的であると認めていただけたとのこと。

私はこれまで賞と名のつくものには、全く縁がありませんでした。私が新しい挑戦をすることにより、周りの人たちを振り回し、若いころは親になしなめられ、妻にはくどかれ、老いては子どもたちにも叱られながら、今日に至っております。

私の生き方が少しは評価されたこと、それに何よりも農業の分野から選んで頂けたことは、大変嬉しく思います。

挑戦する農業

土に夢を植える

TAKAGI FARM

高橋治儀の足跡

- 昭和 47 年 4 月 就農
- 50 年 10 月 1 号棟 建設
- 59 年 10 月 2 号棟 建設
- 60 年 トマトの節水栽培に取り組む
- 61 年 4 月 節水トマトの販売戦略を立て、本格販売
- 62 ～ 63 年 なかなかフルーツトマトが市場に認知してもらえず苦戦を強いられる
- 63 年 6 月 背水の陣で東京の生鮮食品集配センターに出荷
長野のスーパーのバイヤーと出会う
- 平成元年 長野のスーパーに本格出荷
この頃から自宅車庫で直売を始める
口コミで販路も広がる
- 平成 7 年 法人化による規模拡大の構想を作り上げる
- 9 年 3 号棟・育苗棟建設 (1,700 m²)
- 10 年 A 連棟 4 号棟建設 (4,860 m²)
- 11 年 B 連棟建設 (3,500 m²)
新潟の皆さんにいちご狩りを！
観光イチゴ園開園
- 12 年 2 月 農業の 6 次産業化のさきがけとして
産地直食のイタリアンレストラン
「ラ・トラットリア・エストルト」開業
- 5 月 行政からレストラン営業が農地法上
違法性ありと指摘される
- 15 年 7 月 行政・農協と協議を重ね、レストランを
やむなく休業
- 16 年 施設園芸部門に於いて、新潟県から
【新潟県持続性の高い農業生産方式の
導入計画の認定者】(通称：エコファーマー)の認定を受ける
- 26 年 新潟市が国家戦略農業特区に指定される
- 27 年 農用地区域内の農地に農家レストランを
建設
- 28 年 5 月 14 日 農家レストラン「ラ・トラット
リア・エストルト」を新装
オープン



宮大工が造った心地良い空間

<http://fruitstomato.com/estorto.html>

壁は高いほど超え甲斐がある

タテ割りの規制を串刺しにする腕力—その剛腕が創った美味しい樂園



日本の未来のために
子どもたちに
ホンモノの食を



減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、
安全で美味しい食材をお届けします。





安吾賞とは、生きざま賞である。



ニイガタ 安吾賞
Niigata Ango Awards

出でよ現代の安吾

第一回 ニイガタ安吾賞

高橋治儀様

獲れたてのワクワクと口福を人々に届けるため
立ちはだかる壁を蹴散らして行く
その集中力、その突破力
真の文化は食に有りと見抜く先見性と
揺るぎない行動力は、現代の安吾にふさわしいと認め
第一回ニイガタ安吾賞を贈ります

壁を越えて行け

平成二十九年二月二十六日
新潟市長 篠田 昭

ニイガタ安吾賞の賞状。金箔を模した背景に満月に向かって容積を増して行く「十日夜（とおかんや）の月」が配され、受賞者のさらなる高みを目指して今後の活躍を願う気持ちを表している



上：木をふんだんに使った店内は、外光を取り入れ開放感と温かみに溢れて、料理の味を引き立てる。宮大工の腕が生きている。

中：木の皿に盛られたサラダは、野菜本来の味を楽しんでもらうために、冷やさずに常温で供される。

右：高儀農場渾身のコンヒカリ、その名も「高儀情熱米」。



第1回 ニイガタ 安吾賞



選考委員会

2016
9/27



選考委員会：左から 齋藤正行委員長、古川憲さん、斎藤和利さん、越乃リュウさん、川島蓉子さん

推薦があった42件の個人・団体の中から選考が行われた。「新潟市にゆかりがあり、安吾精神を具現されている個人や団体を応援する」というニイガタ安吾賞の趣旨を考慮し、白熱した議論が交わされた。最終的には、満場一致で、第1回ニイガタ安吾賞は、高儀農場代表取締役の高橋治儀氏に決まった。

記者会見

2016
11/22



記者会見：左、篠田昭新潟市長、右、齋藤正行選考委員長

篠田市長と齋藤選考委員長による記者会見が開かれた。選考について齋藤委員長は、「多彩な応募があった中、第1回のニイガタ安吾賞にふさわしい受賞者に決まったのではないかな。制度の中で戦い、制度を超えてやろうとしてきたことが、農家レストランの開業につながった」と語った。

篠田市長は、農家レストラン「ラ・トラットリア・エストルト」オープンの日、高橋氏が「若気の至りで迷惑をかけて申し訳ありませんでした」と挨拶して場を和ませ、「高橋さんの思いに、時代が追い付いてきたんだね」とはなむけの言葉を贈ったことを振り返った。

また、農家レストラン「ラ・トラットリア・エストルト」についても、木をふんだんに使ったすばらしい作り。最高のものを目指す挑戦者魂を感じると評した。

安吾年譜

明治三十九年（一九〇六）十月二十日、父仁一郎、母アサの五男として新潟市西大畑町に生まれる。（本名・炳五）西堀幼稚園、新潟尋常高等小学校（現新潟小学校）へ進む。大正八年県立新潟中学校（現県立新潟高等学校）入学。この頃から学校にもあまり登校せず、ひとり日本海に面する浜辺に寝ころんで空と海と風と波と光とを終日眺め思索した。荒蕪たる風と日本海の風景は安吾文学の原風景といえる。

余は偉大なる落伍者となつていつの日か歴史の中によみがえるであろう 大正十一年、中学三年生の九月、落第が決定的となり東京の豊山中学三年に編入。この時、新潟中学校の机のふたに「余は偉大なる落伍者となつていつの日か歴史の中によみがえるであろう」と彫ったという。大正十四年豊山中学を卒業。世田谷下北沢の分教場（現代沢小学校）の代用教員となり自然の中に恵童たちと遊んだ。その体験は『風と光と二十の私』になる。この頃から求道の厳しさに対する憧れが強まる。

求道者 安吾 大正十五年、東洋大学印度哲学倫理学科に入学。悟りを開くため多くの哲学宗教書を読破、睡眠四時間という厳しい修行生活を一年半続け神経衰弱に陥ったが、それを梵語、バリー語、チベット語、フランス語、ラテン語などを猛然と勉強することにより克服した。

文壇デビュー 昭和六年一月、処女作『木枯の酒倉から』を発表。五月『ふるさと』に寄する讃歌、六月『風博士』を発表、牧野伸一が激賞。七月『黒谷村』を発表、島崎藤村などが賞賛し、新進作家として文壇に認められる。昭和七年の夏、新進女流作家の矢田津世子を知り烈しいプラトニック

ク・ラブに陥り、安吾は懊悩し酒場のマダムなどと同棲するデカダンスな生活を重ね、四年後ようやく彼女と訣別を決意。昭和十三年、新たな決意のもと執筆した長編『吹雪物語』は酷評され、安吾は自分に絶望し、転居を繰り返し自らを孤独の淵に置きながら、どん底の淪落の生活を送る。しかし『紫大納言』（昭和十五）、『木々の精谷の精』（昭和十五）などの新境地をひらく。

小菅刑務所・ドライアイス工場・軍艦に見いだす必然の美 昭和十七年、国粹主義の時代、大胆な『日本文化私観』を発表し、伝統文化を呑み込むことの欺瞞を指摘した。

堕ち切るにより真実の救いを発見せよ 昭和二十一年、敗戦後の昏迷の中でいち早く戦後の本質を洞察し、四月『墮落論』、六月に『白痴』を発表。この二編は、若者を中心に戦後虚脱していた日本人に強い衝撃を与えた。戦前戦中の倫理観を捨て新たな生き方を指し示す革命的宣言は希望の書となり、『墮落論』によって戦後の日本が再スタートした。昭和二十二年『風と光と二十の私』、『桜の森の満開の下』、『不連続殺人事件』、『青鬼の禪を洗う女』を発表。

戦う安吾 昭和二十五年、『安吾巷談』を連載し、戦後のタブーに挑戦する。昭和二十六年国税局と税金滞納、差押えをめぐる『負ケラレマセン勝ツマデハ』を発表。税金闘争をひとり戦い抜き、同年九月には競輪不正事件で自転車振興会を相手どり戦う。『夜長姫と耳男』（昭和二十七年）発表。

急逝 昭和三十年（一九五五）二月十七日、古代史の雄大な構想とともに、原風景に由来する創造活動に意欲を燃やしはじめた矢先に、桐生の自宅で脳溢血で急逝した。享年四十八

ニイガタ 安吾賞

第1回 ニイガタ安吾賞 選考委員

□委員長

齋藤 正行

安吾の会世話人代表

新潟・市民映画館シネ・ウインド代表

□委員

川島 蓉子

伊藤忠ファッションシステム株式会社取締役
ifs 未来研究所所長

越乃 リュウ

元宝塚歌劇団月組組長

齋藤 和利

株式会社 新潟放送

常務取締役 営業本部長 兼 営業局長

古川 憲

一般社団法人 新潟青年会議所
2016 年度理事長

山口 誠二

新潟市文化スポーツ部長

第1回 ニイガタ安吾賞授賞式

2017 年 2 月 26 日 (日)

新潟三越7階特設会場



安吾賞の軌跡 2006～2015

安 吾 賞

01



野田 秀樹
劇作家・演出家・俳優

02



野口 健
アルビニスト

03



瀬戸内 寂聴
作家・僧侶

04



渡辺 謙
俳 優

05



ドナルド キーン
日本文学・文化研究者

06



荒木 経惟
写真家

07



若松 孝二
映画監督

08



会田 誠
美術家

09



草間 彌生
前衛芸術家・小説家

10



佐藤 優
作家・元外務省主任分析官

新潟市特別賞



横田 滋
横田早紀江
拉致被害者家族連絡会代表



カール ベンクス
建築デザイナー



近藤 亨
NPO ネパール・ムスタン地域開発協力会理事長



野坂 昭如
作 家



月乃 光司
「こわれ者の祭典」代表



能登 剛史
「にいがた総おどり」副会長・総合プロデューサー



天野 尚
写真家



大友 良英
音楽家



coba
アコースティック・作曲家



外山 陽子
新潟県女子体育連盟会長

肩書きはいずれも受賞当時